

工事目的物の品質確保における 支払制度について

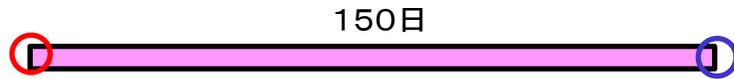
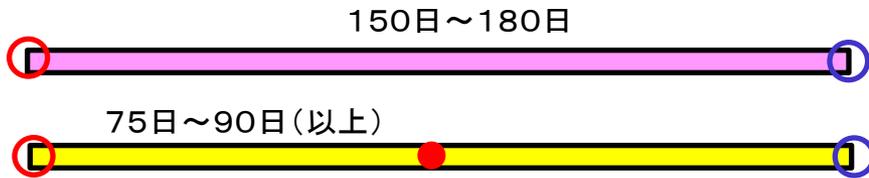
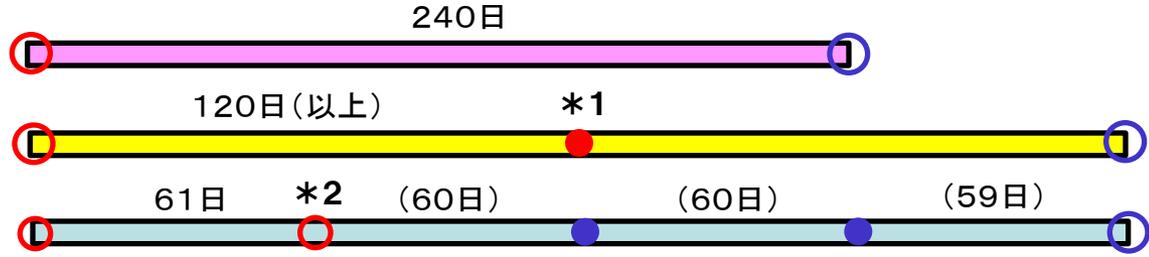
現行の支払制度について(1/2)

1. 現行の支払制度

各支払いの 工期による 適用範囲	各支払いの方法と支払率				対象工事等
	2/10	4/10	6/10	8/10	
前金払い 全ての工事が対象	前金払い 全ての工事が対象 (契約時4割)		完成払い (完成時6割)		・全ての工事が対象 ・1千万円以上、かつ150日を こえる工事が対象 * 1: 工期の2分の1を経過し、かつ出 来高として1/2以上できた段階で 中間前金として2割。
中間前金払い 150日をこえる工事			* 1 中間前金払い (2割)	完成払い (完成時4割)	
出来高部分払い 180日をこえる工事	前金払い① (契約時2割)	* 2 前金払い② (2割)	出来高部分払い (出来高に応じて合計5割まで)		完成払い (完成時 残り)

現行の支払制度について(2/2)

2. 工期と支払方式毎の支払間隔

150日までの 工期の工事	前金払いのみ	 <p>150日</p>
150日から 180日までの 工期の工事	中間前金払いが可能 (前金払いのみ) (中間前金払い)	 <p>150日～180日</p> <p>75日～90日(以上)</p>
180日以上 の 工期の工事	出来高部分払いが可能 (前金払いのみ) (中間前金払い) (出来高部分払い)	<p>【240日の場合】</p>  <p>240日</p> <p>120日(以上) *1</p> <p>61日 *2 (60日) (60日) (59日)</p> <p>()は、施工プロセス検査の場合</p>

【*1: 中間前金払いにおける中間前金の支払い条件】

・工期の2分の1を経過し、かつ出来高として1/2以上できた段階で中間前金として2割。

【*2: 出来高部分払いにおける2回目の前金の支払い条件】

・出来高として1/5以上、もしくは規定された工期(240日の工期の場合61日)を経過した段階で、4割の前金の残り2割。

凡 例	
	: 前金
	: 中間前金
	: 既済部分払い
	: 完成払い

中間前金払い及び出来高部分払いの実態(1/2)

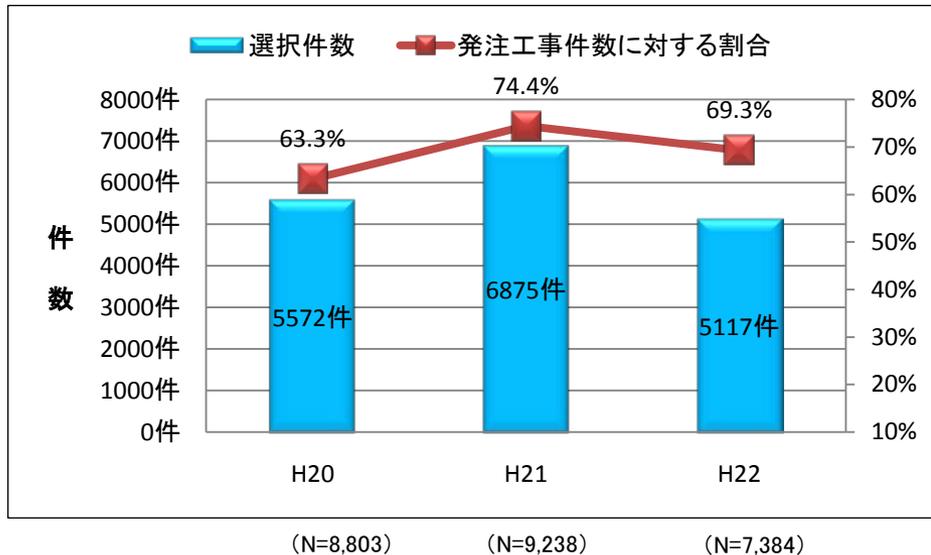
1. 中間前金払い及び出来高部分払いの選択状況

調査内容：H20年度～H22年度に契約した国土交通省発注工事（営繕工事、港湾工事及び空港工事を除く）を対象に、契約時に選択した各支払い方法を調査。

中間前金払い

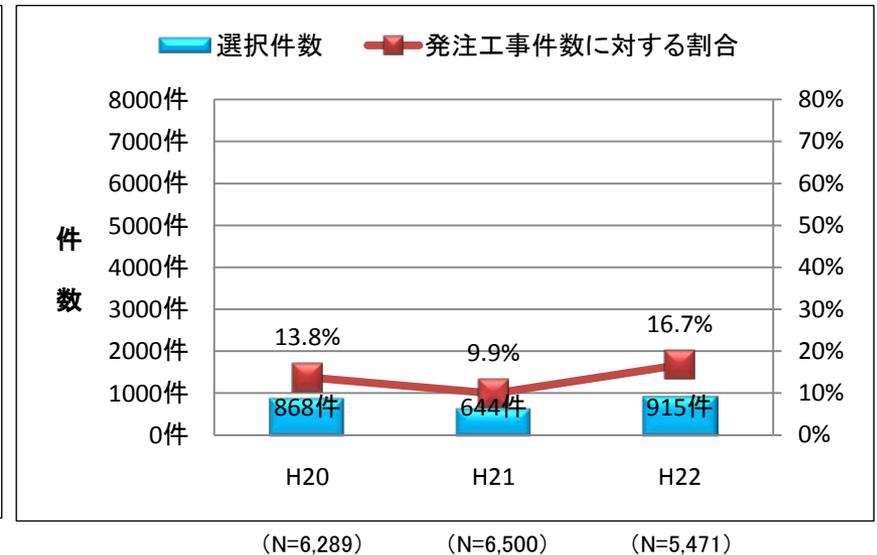
（工期が150日を超えかつ

契約金額が1千万円以上の工事が対象）



出来高部分払い

（工期が180日を超える工事が対象）



- ・中間前金払いが選択される率は、約7割。
- ・出来高部分払いが選択される率は、H22はH21と比べて増加。

中間前金払い及び出来高部分払いの実態(2/2)

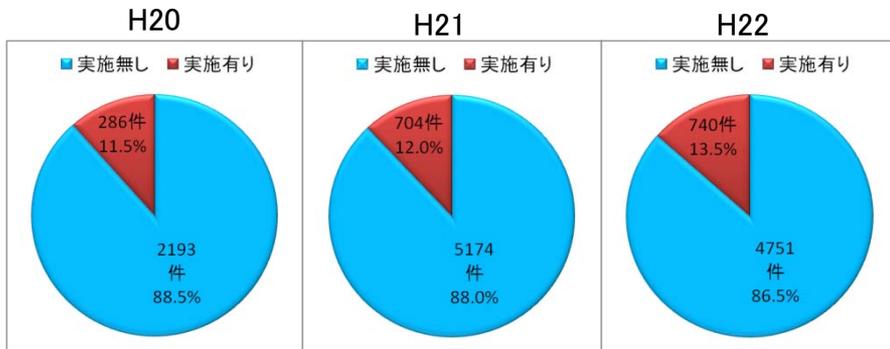
2. 中間前金払い及び出来高部分払いの実施状況

調査内容：H20年度～H22年度に完成した国土交通省発注工事（営繕工事、港湾工事及び空港工事を除く）を対象に各支払い方法の実態を調査。（H19年度以前の発注工事は含まない。）

中間前金の実施状況

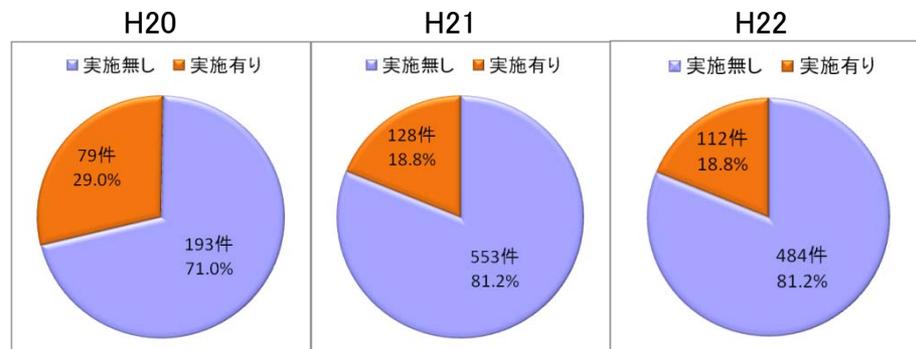
（工期が150日を超えかつ

契約金額が1千万円以上の工事が対象）



出来高部分払いの実施状況

（工期が180日を超える工事が対象）



中間前金払いまたは出来高部分払いを選択しても、あまり実施(請求)されていない状況



■ 現状においては、中間前金払い及び出来高部分払いがあまり実施されていない状況を踏まえ、中間前金払い及び出来高部分払いが活用されるよう制度改善を検討。

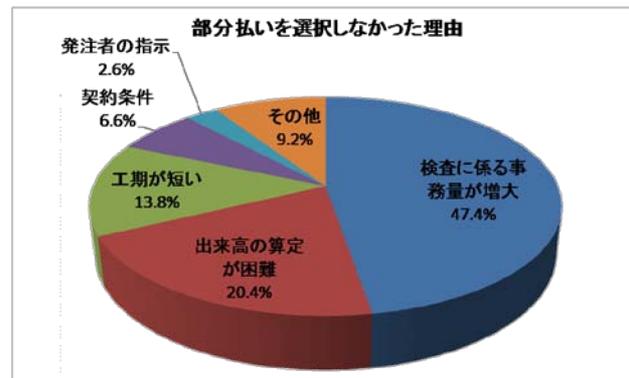
出来高部分払いが実施されない理由について

1. 出来高部分払いを選択しなかった理由

◎H22.5 (社)日本土木工業協会実施のアンケート結果

(H20.10~H21.10契約の3億円以上の公共土木工事:有効回答数152件)

■ 検査に係る事務量が増大する	47.4%
■ 出来高の算定が困難	20.4%
■ 工期が短い	13.8%
■ その他	



2. 出来高部分払いを選択したが実施しなかった理由

◎H23.7 アンケート (H22年度完成工事の直轄工事のうち:有効回答数209件)

■ 既済部分検査の資料作成に手間がかかる	
① 出来高算出資料	23.0%
② ①以外の工事関係資料	10.5%
③ 事務的資料	2.4%
■ 請求に至るまで工事が進捗していなかった	30.6%
■ 契約変更がなされていなかった	11.5%
■ 資金繰りに問題がなかった	12.0%
■ その他	10.0%

